

## 公認大会のありかたを考えるワーキンググループ パブリックコメント募集について

2019年3月18日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

公認大会のありかたを考えるワーキンググループ 座長 奥田健史

### パブリックコメント募集

近年、公認大会の数が減少しており、全日本大会のエリートクラスへの出場権獲得の機会が非常に少なくなっている。このためエリートを目指す選手のモチベーションが低下し、ひいては競技力の低下につながる恐れがある。

そこで、日本オリエンテーリング協会（JOA）理事会は「公認大会のありかたを考えるワーキンググループ（WG）」を設置し、検討してきた。本件は、WG の中間報告を公表し、関係各位のパブリックコメントを求めるものである。

パブリックコメントを求める内容は以下の通り。

- (1) 本 WG が分析している「公認大会の意義およびメリット・問題点」の認識に相違や抜けがないか。相違や抜けがあるとしたら、それは何か。
- (2) 本 WG が提案している「公認大会のありかたに関する提案」に対する意見。
- (3) 公認大会に参加する選手から見た、公認大会に対する要望。
- (4) 大会の運営者から見た、公認大会に対する要望。

#### 【応募方法】

以下のメールアドレスに、氏名・連絡先を明示し、意見を記述した文章を送る。

[public\\_comment@orienteering.or.jp](mailto:public_comment@orienteering.or.jp)（パブリックコメント専用受付アドレス）

公益社団法人日本オリエンテーリング協会事務局

#### 【応募期限】

2019年4月30日

## 公認大会の意義およびメリット・問題点

JOA が公認大会を定義している最大の理由（公認大会の意義）は、競技スポーツを全国的に管轄する法人として、競技規則に則っている大会を認定する仕組みが必要、というものである。

大会の運営者にとって、公認大会を開催するメリットとしては、以下の点が挙げられる。

- ・参加者が増える
- ・地元渉外時に社会的信用が高くなる
- ・賠償責任保険・傷害保険・救護セットの貸出等の運営サポートを受けられる

一方、以下のような問題点があることも事実である。

- ・会員支援金が高すぎる
- ・指導者資格を持った責任者・イベントアドバイザー（EA）の確保が困難
- ・申請の期限が早すぎる
- ・クラス分けが性別・年齢ごとに強制される
- ・リレーは公認の対象になっていない
- ・競技規則類の遵守が求められることが心理的ハードルとなっている

これらの問題点を緩和させることができれば公認大会が増える可能性は大いにある。

ただし、競技者にとっては、全日本大会の E 権を取れる大会であり、参加の公平性・競技性の担保が必要である。また、JOA にとっては、公益社団法人としての社会的責任を果たすことが必要であることから、競技規則が守られなくなったり、JOA の信用を棄損するような緩和策の採用は避けなければならない。

## 公認大会のありかたに関する提案

当 WG では今後の公認大会のありかたについて以下の事項を提案する。

- ・「大会の質を上げる」「開催のハードルを下げる」の両面により改善する
- ・大会の質を上げるために、プランナー・競技責任者の教育のサポートを行うとともに、EA 資格保有者を増やす
- ・EA 資格保有者を増やすために、オンライン受講・テキスト外注・運営実績の認定等により、EA 講習の機会を増やすとともに、全日本大会以外は主催者内部に EA 資格保有者がいれば外部の EA 選定は不要とする
- ・開催のハードルを下げるために、クラス分け・申請期限・コスト等について見直す
- ・公認大会化への心理的ハードルを下げるために、公認大会とは別の制度として、全日本 E 権やコスト等は発生しないが、競技規則類に準拠することを JOA に届け出る「準拠大会」制度を新たに導入する

新たな大会制度および指導者資格の改善案の詳細については別紙を参照のこと。

## (参考資料) 公認大会のありかたを考えるワーキンググループについて

### 【活動経緯】

2018年2月9日

「公認大会のありかたを考えるワーキンググループ」の設立がJOA理事会で承認された。  
理事会、関連委員会、事務局、業者、日本学連からメンバーを選出していただいた。

2018年3月～2019年2月

メールや会議等により、意見交換を行った。

2019年2月23日

JOA理事会で中間報告（本報告）を行った。

### 【今後の計画】

2019年3月18日

中間報告内容をwebに公表し、パブリックコメントを求める。

2019年4月30日

パブリックコメントの募集を終了。

2019年5月以降

JOA理事会に最終報告を提出。

### 【メンバー】

奥田健史（本WG座長・JOA首都圏ブロック理事）

平島俊次（JOA業務執行理事）

木俣順（JOA競技委員会）

西脇正展（JOA競技委員会）

仁多見剛（JOA競技委員会）

藤井範久（JOA強化委員会委員長）

佐藤信彦（JOA普及教育委員会委員長）

高村卓（JOA事務局長）

西村徳真（NishiPRO代表）

上野康平（日本学連幹事）

### 【本WGに期待する答申の内容】

今後の公認大会のありかたについて、以下の内容をJOA理事会に答申する。

- ・公認大会の意義、必要性の確認
- ・公認大会のありかた、枠組みを提案

以 上